

《小鹿野高校の活性化・特色化方針》

（令和3年度～）

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	総合学科			生徒数	(男)106 (女)94	計200			
ホームページ	https://ogano-h.spec.ed.jp/										
アクセス	西武鉄道西武秩父駅、秩父鉄道秩父駅から西武バス小鹿野車庫行に乗車、「小鹿野」バス停下車徒歩5分										
教育課程等の特徴	1年次は総合学科の原則履修科目である「産業社会と人間」において、インターンシップを実施。2年次からは、自分で作成した時間割に基づき学習します。「国際教養系列」「情報・ビジネス系列」「福祉・生活系列」「郷土・環境系列」の4系列に設置された約80の選択科目から、自分の進路実現に必要な科目を選択し、主体的に学習を進めていきます。										
活躍が顕著な部活動	【過去の実績】 野球部（埼玉県高等学校北部地区大会優勝）、柔道部（関東女子ジュニア大会出場）、陸上部（関東高等学校陸上競技大会出場、北部地区大会優勝）ボランティア部（彩の国埼玉環境大賞優秀賞、eco-1グランプリ審査員特別賞）等										
特色ある学校行事	文化祭として「わらじかフェスタ」を開催し、地域密着型の学校行事としています。来場者数は約1,000人に迫り、全校生徒の約5倍の来場者が訪れます。小鹿野高校は、様々な行事の機会を捉え、生徒の自己肯定感を育てていきます。										
家庭・地域との連携	先進的に地域との連携・協力に取り組んでいます。西秩父観光協会や地域施設等から、多くの協力依頼をいただきますが、それらのボランティア活動に積極的な参加を促しています。学校以外の人々を行う取組を通じて、生徒の人間力を育み、秩父地域を支える人材を育てます。また、地元の小中学生や高校生を対象とした「小鹿野未来塾」にも参画し、地元の教育力向上に貢献しています。本校生徒も参加が可能で、漢字検定や英語検定に無料で受検することができます。										
進路	状況	四大	7人	短大	1人	専門	21人	就職	34人	その他の卒業生	2人
	傾向	秩父管内への就職希望者の割合が多いです。進学については、看護・福祉の分野へ進学希望のある生徒を対象に、専門的な学校設定科目を設置するなど、小規模校の利点を生かした教育課程を整え、一人ひとりの進路実現を目指しています。									

（※生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3卒業生の実績値）

2 入学者選抜情報

<本校が求める生徒>

何事にも諦めず真面目に取り組むことが出来る、または取り組めるようになりたい生徒

<詳しい入学者選抜基準はこちら>

（「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます）

埼玉県立小鹿野高等学校

～生徒の成長物語～



「入学」

1 1年生

1年生全員を対象に
インターンシップを
実施します。

少人数制だからできる
面談の良さ、
入って伸びる学校です。

協賛企業と共同で
多くの企業から
企業方を身に付ける

基礎から発展までの学びで、
新たな自信を身につけます。
やればできる！

スクールカウンセラー等が
学校生活をバックアップ！

協働で紡ぐづくり「わらしがろポーツフェスタ」
学年対抗の体育祭、
学年としての一体感を醸成します！

2 2年生

地域が活性化する「わらしがろフェスタ」
約1,000名が参加する文化祭、
全校を挙げて、地域の方をもてなします！

礼儀や思いやり、
気遣い、主体的
に考え実践し、行動
する力を身に付ける

基礎学力の向上
全校生徒で取り組む月間放課後のマンデレーツ
スンやスキルアップトレーニング、希望者を対
象とした進学補習会やスタディサプリ等によ
り一人ひとりの学力向上を目指します。

3 3年生

2・3年生「生徒の数は夢と感動がある」
①福祉・生活系…地域施設での介護実習等を通
して、相手の立場に立った「福祉」を学びます。
②情報・ビジネス系…簿記や情報処理の資格取
得、また作品制作を通して力を高めめます。
③国際教養系…進学を希望した学習を行います
④郷土・環境系…学校設定科目等を生かして特
徴のある学びを進めます。

功利的で非人間的な社
会に育つことを避け、
人間性向上を目指す。

就職支援教員（JST）が
進路実現を全面的にサポート！



部活動で自分を磨く！
・関東大会出場 柔道部、陸上競技部<やりゆ>
・東北大会優勝 田バス16) 野球部
・東北大会優勝 陸上競技部<走風>
・eco-1グランプリ審査員特別賞、
影の国境大使優秀賞 ボランティア部
その他、各部活動が盛岡中！

新たな自信を持って「卒業」
学習：卒業後も「学び続ける」力
進路：希望進路に繋がるキャリア
生活：社会規範の尊重



地域ボランティア、行事等を通して「人間力」の育成、
自己肯定感をはぐくみ、地域を支える人材に！